

大分工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	国語総合
科目基礎情報						
科目番号	30C201		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	都市・環境工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	(教科書)『新編国語総合』(東京書籍),課題ノート『学習課題ノート』(〃)／(参考図書)『新総合図説国語』(東京書籍),『新版パーフェクト 常用漢字』(第一学習社)					
担当教員	相本 正吾					
到達目標						
(1) 現代文(評論文・随筆・小説・詩・短歌俳句川柳狂歌)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎・応用を身につける.(定期試験, 提出課題) (2) 古文・漢文・漢詩の読解の基礎力・応用力を身につける.(定期試験) (3) 文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や発表力を身につける.(課題ノート, 提出課題) (4) 常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語・文芸用語・評論用語の力をつける.(定期試験, 「漢字の小テスト」)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	現代文(評論文・随筆・小説・詩・短歌俳句川柳狂歌)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎・応用を身につける. それを他者に説明することができる.		現代文(評論文・随筆・小説・詩・短歌俳句川柳狂歌)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎・応用を身につけることができる.		現代文(評論文・随筆・小説・詩・短歌俳句川柳狂歌)に親しみ, 読解や鑑賞の基礎・応用を身につけることができない.	
評価項目2	古文・漢文・漢詩の読解の基礎力・応用力を身につける. それを他者に説明することができる.		古文・漢文・漢詩の読解の基礎力・応用力を身につけることができる.		古文・漢文・漢詩の読解の基礎力・応用力を身につけることができない.	
評価項目3	文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や発表力を身につける. それを他者に説明することができる.		文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や発表力を身につけることができる.		文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や発表力を身につけることができない.	
評価項目4	常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語・文芸用語・評論用語の力をつけ, それを他者に説明することができる.		常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語・文芸用語・評論用語の力をつけることができる.		常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語・文芸用語・評論用語の力をつけることができない.	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (C1)						
教育方法等						
概要	・現代文(評論文・随想・小説・現代詩・短歌・俳句川柳)及び古文・漢文を読み,その読解・鑑賞・内容に関する文章作成や意見交換を行う. また, 日本語表現力の向上に向けて「表現編」として,作文や, 発表・討論も行う. ・漢字練習帳やプリントの分を試験範囲とした「漢字の小テスト」を三～四週間ごとに行い,漢字・語句の力を身につける. ・年二回, 授業で文学作品や文章の創作を行う「創作大会」を実施する. (科目情報) 授業時間 46.5時間 関連科目 国語総合(1 年),現代文(3 年)					
授業の進め方・方法	基本的に講義を中心に学習するが, 年に2回の創作大会の実施を授業に組み込む. (再試験について) 対象者に対して再試験は行う.					
注意点	(履修上の注意) 授業で用いた種々のプリントは考查の範囲に入れることもあるので,保管しておくこと. (自学上の注意) 課題ノートやプリントを用いて授業の予習復習を心掛けること.					
評価						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	現代文(1)		詩(1)の読解・鑑賞. 近現代日本の詩史(1)	
		2週	現代文(2)		小説(1)の読解. 近現代日本の小説史(1)	
		3週	現代文(3)		小説(1)の読解. 文芸用語(1).	
		4週	表現(1)		表現の実践(1) ― 調査して発表する	
		5週	現代文(4)		随想(1)の読解	
		6週	現代文(5)		評論文(1)の読解. 評論文用語(1)	
		7週	表現(2)		表現の実践(2) ― 句会を行う	
		8週	現代文(6)		単価の読解・鑑賞. 近現代日本の短歌史	
	2ndQ	9週	前期中間試験			
		10週	中間試験の解答と解説 古文(1)		説話を読む. 古文の文法事項の復習・応用(1)	
		11週	古文(2)		随筆を読む. 日本古典文学史(1)	

後期		12週	創作大会(第1回)	創作大会を行う
		13週	漢文(1)	故事を読む. 漢文を読む基礎事項の復習・応用(1).
		14週	漢文(2)	漢詩を読む. 漢詩の決まりの復習.
		15週	前期期末試験	
		16週	期末試験の解答と解説	
	3rdQ	1週	現代文(7)	随想(2)の読解
		2週	現代文(8)	小説(2)の読解. 近現代日本の小説史(2)
		3週	現代文(9)	評論文(2)の読解
		4週	表現(3)	表現の実践(3) — 情報を読み取る.
		5週	現代文(10)	評論文(3)の読解. 評論文用語(2).
		6週	現代文(11)	詩(2)の読解・鑑賞. 近現代日本の詩史(2).
		7週	表現(4)	表現の実践(4) — 実用文について考える
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	中間試験の解答と解説 現代文(11)古文(3)	川柳・狂歌の読解・鑑賞. 日本古典文学史(2).
		10週	古文(4)	歌謡・近世俳句を読む. 古文の文法事項の復習・応用(2)
		11週	古文(5)	軍記を読む. 日本古典文学史(3)
		12週	創作大会(第2回)	創作大会を行う
		13週	漢文(3)	史伝を読む. 漢文を読む基礎事項の復習・応用(2).
		14週	漢文(4)	『論語』を読む(2).
		15週	後期期末試験	
		16週	期末試験の解答と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	前6,後3,後5
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	前6,後3,後5
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	前1,前2,前3,前5,前8,後1,後2,後6,後8
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前3,前6,後3,後6,後8
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前6,後6
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	前8
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	前6,後5
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	後7
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	前4,後4
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	前4,後4
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	前4,後4
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	後4
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	前6,後3,後5
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	前6,後3,後5
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前13,前14,後13,後14
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	前13,前14,後13,後14
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	前13,前14,後13,後14
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	前13,前14,後13,後14

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---